

新しい年、平成27年がスタートしました。3学期はあっという間に過ぎ去っていきます。新鮮な気持ちで残り3ヶ月の学校生活を充実させていきたいものです。そのためには、冬休みの乱れがちだった生活習慣を引きずらないように、生活を立て直すことが大切です。学級生活や授業のルールを再確認し、学級の成長が自覚できるように、先を見通して1年間のまとめの機会をつくっていきましょう。



### <小学校>

#### 学級づくりをキャリア教育の視点からみると

#### 「名人」を育てる…当番活動

当番活動は、みんなのために一生懸命働く経験を通して、働くことの大切さや意義を体験的に理解することができる活動です。当番活動を活性化させると、一人一人に達成感を得させることができます。そして友だちから認められることで自己肯定感を高めることもできます。

#### 1月は、当番活動を見直すよい時期です。

- ① **一人一役**…給食、清掃当番では一人一人に役割をもたせ、自己有用感をもたせます。
- ② **評価カード**…特に清掃当番では、点検項目を設定し、認め合うことで、活動にメリハリをつけ、達成感が得られるようにします。
- ③ **「名人発見」**…それぞれの当番できらりと光る活動の様子を子ども同士で相互評価し、自己肯定感を高め、  
「よしやるぞ」の気持ちをもたせましょう。

#### 寒さに負けず仲良く遊ぼう

体力の向上がいわれています。冬の寒さで、外に出ることを嫌う子どもたちに、マラソンカードで目標をもたせて校庭を思いっきり走らせたいですね。ここでは、雪が降り、遊ぶ場所も限られてくる中、教室で簡単に、友だち同士でできる遊びを紹介します。試してみてください。

#### <新聞紙乗りじゃんけん>

新聞を2枚用意します。二人がそれぞれ新聞紙の上に乗って、じゃんけんをします。負けた方が新聞紙を半分に折って、半分になった新聞紙の上に乗ります。くり返しジャンケンをし、負けた方が新聞紙を次つぎに折っていき、新聞紙が小さくなって乗れなくなったら勝負が決まります。クラスでトーナメント戦を行うなど工夫してみましょ。バランス感覚も養えるはずですよ。



#### 学級づくりをキャリア教育の視点からみると

### <中学校>

#### 集団生活と当番活動

年が改まり、3年生から引き継がれた生徒会の活動が始まるこの時期。学級での当番活動決めの場面で、以下のような取組を試してみましょう。

- ① **当番活動を二つの観点から振り返る**  
・「みんなのための活動になっていたか」  
互いへの感謝や不満の声を、集団で生活する意味、責任を果たすよさと結び付けましょう。  
・「もっと効率よくするためには」  
必要な人数や内容について話し合い、改善していくことで、主体的な活動になっていきます。
- ② **当番表は生徒の手で作成する**  
当番表やマニュアルの作成にあたっては、教師が枠を与えず、生徒が工夫して作成することで、主体的な活動の第一歩となります。

学級生活を気持ちのよいものにしていくために当番活動の意味をもう一度見直し、体験を通してキャリア発達を促していきましょう。

#### 楽しい給食で人間関係づくりを

毎日ある給食の時間は、リラックスした会話を楽しめる時間でもあります。ちょっとした工夫を考えてみませんか。

- ① **教師が班を順番に回り、一緒に食べる。**  
生徒たちとさまざまな話ができるチャンスです。
- ② **誕生日の生徒を祝って牛乳で乾杯をする。**  
その生徒は、一言スピーチをする。ちょっとした心遣いがうれしいものです。
- ③ **給食委員に食べ物に関するクイズを作ってもらい、みんなで考える。**  
共通の話題が生まれます。また、食育にもつながります。
- ④ **音楽会などの映像を見ながら、自分たちの活動を振り返る。**  
楽しい会話を生み出すことができます。給食の時間を工夫してみましょ。